
遊戯王GXっぽい

460

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王GXつばい

【Nコード】

N0162BA

【作者名】

460

【あらすじ】

作者の執筆リハビリ目的で始めた二次創作です。基本オリ力なしのシンクロ・エクシーズも現在は無しです。時系列は……（一話以降に判明）。

あらすじも後日書こうと思います。

お試し感覚でプロローグを見て下さい。

ブローグっぽい

「そのキミ!!」

頭上からいきなり響いた声に俺は反射的に顔をガバツと上げた。

「ようやく起きたわね」

そこには、呆れ顔の黒髪ロングの美女がいた。

え？

「お、俺は……」

工業系の学校に通ってる俺は、今どきの男子工業生によく見られるコミュニケーション能力がとて乏しく。また、高校三年間は驚愕なことに共学なのに（このとき上手い事言っただと思っただ）クラスに女子生徒がゼロという環境で育ったこともあり、いきなりの事態に混乱していた。

「はぁ、実技試験前なのに寝てるなんてあなた呑気ね」

周りからは、あいつオワツタなという感がヒシヒシと伝わってくる中。俺のマルチタスク（笑）を駆使して現状の確認をした。

どこかの待合室だろうか？ まわりには緊張した面持ちで順番を待つ中学三年生くらいの生徒たち。

机とパイプ椅子が順番に並べられていて、通路側には045→048という立札がある。

「あなたの実技試験はあと10分ほどで開始されますので、デュエルディスクとデッキを持って第2決闘場へ向かいなさい!!」

女性はそういつと背中を押して廊下へ俺を急かすように押されていた。

デュエルディスク

デッキ

これらから導かれた答えは……もしかして 遊戯王 ?
しかも、実技試験ってGXじゃね。

あ、これは夢か!!

夢なら思いつきりやっても問題ないだろうという結論を出した俺は、

試験終了後に

『ところがどっこい……夢じゃありません』というイケメンのセリフを思い出すのであった。

「よし、ご都合主義万歳」

俺の持ち物には、デュエルディスクと俺のデッキがあった。

デッキは数種類あつて、ガチデッキからロマンあふれるネタデッキまで最近揃えていたものがあつた。

しかし、俺は遊戯王GXの途中から忙しくなつて引退、最近になつて現実逃避気味に手を出し直したものだから知識がかなり乏しい。たしか、シンクロは5D'sからだつたはず……。牛尾が警察っぽいことをやってるくらいの知識しかない。

うーん、どのデッキにしようかな？

ドラグニティ はシンクロ主軸だし、青眼は社長の嫁だから没。

ロマンあふれる罫なしの魔法カウンターは、アーカナイト主軸だから無理ポ。

暗黒魔轟神 は、魔轟神シンクロをしなければいけないけど、まだ調整中だから事故るのが不安。

.....

こんな夢はめったにあるものじゃないし、どうせなら勝ちたいと思うのは当たり前だろう。

「これにするか」

デュエルディスクにデッキをハメた俺は、「46番」と呼ばれると同時に会場へと足を踏み入れた。

俺が決闘場に着くとデュエルディスクを装着した試験官が待ち構えていた。

アニメでデュエルアカデミア講師が着ていたコートを羽織っている
事から講師の人かな？

「君が受験番号46番かい？」

「受験番号46番の轟とんき士郎しろうです…って、え！？」

あれ？、俺の名前は〇〇××だった筈って……名前が思い出せない。
轟 士郎ってなんだよ？

H A H A H A

おいおい、冗談と言ってくれよバニー

これじゃ……まるで……

「君、大丈夫かい？」

俺が呆然としてしていると試験官が声を掛けてきた。

「…あ、はい。少し……緊張気味で……」

咄嗟の言い訳だが、無難な答えを出せたと思う。

「ふう、リラックスして普段の力が出せるようにしなさい」

それでは実技試験を始めるという声と共に試験官はポケットからコインを取り出し

「さて、まずは先攻を決める」

「表で…」

とりあえず、今は試験だと気持ちを切り替える事にする。

「では、裏が出たら私が先攻だ」

試験官がコインを弾くとピーンという甲高い音と共に宙を舞う。
コインは表。俺が先攻だ。

「デュエル!!」

あ、どうやってデュエルディスクを動かすんだ？

適当にデュエルディスクを起動させる事に成功。
まあ、子供用の玩具だし、社長もそこまで難しいものを玩具として出すわけもないか

自己完結しているとデュエルディスクにLPが表示された。

轟 LP：4000

試験官 LP：4000

LP：4000って初手バーンのリアリストだったら、すぐ終わる
と思いつつ。

互いに手札を5枚引く。

「俺のターン、ドロー!!」

今、気付いたけどスリーブが純正の物（模様がカードの裏と同様）
になっている。当時、アニメ見ていて思ったけどレアカードが傷つ
くと思ったのは俺だけじゃない筈。

「俺はモンスターをセット」

あ、セットって裏守備の事ね。

「更にカードを二枚伏せてターン終了」

きつと、試験用デッキなのだから、初手大嵐とかブラックホールは
無い筈。

無いよね？

「私のターン、ドロー!! 守ってばかりでは勝てないぞ」

先攻、攻撃表示にするほどのモンスターが無いのだからしょうがない。

「私は ゴブリン突撃部隊 を召喚!!」

ゴブリン突撃部隊 ATK / 2300

やば、きっと無難な メカ・ハンター とか出すと思ったら、デメリットアタッカーだと!!

「さらに ビックバン・シュート をゴブリン突撃部隊に装備する」

ゴブリン突撃部隊 ATK / 2300 ↓ 2700

え〜と、たしか攻撃力アップと……

「 ビックバン・シュート を装備したモンスターは攻撃力を400ポイントアップし、さらに装備モンスターが守備表示モンスターを攻撃した時、その守備力を攻撃力が超えていれば、その数値だけ相手ライフに戦闘ダメージを与える」

貫通能力って、 メテオ・ストライク の上位互換かな？

そんな事よりも、観客があいつオワツタなみたいな空気を出している。

攻撃力の2700なんて大したことないだろ。

「バトルだ!! ゴブリン突撃部隊で裏守備モ^{リセ}ンスターに攻撃!!」

「速攻魔法発動 収縮。この効果によってゴブリン突撃部隊の攻撃力が半分になる」

「くッ!!」

ゴブ突の姿が小さくなっていく。

ゴブリン突撃部隊 A T K / 2 3 0 0 ↓ 1 1 5 0 ↓ 1 5 5 0

収縮って明記されてないけど元々の攻撃力なんだよね。

ゴブ突の攻撃を受けて、裏守備モンスターが表になる。

グラディアルビースト
剣闘獣ホプロムス D E F / 2 1 0 0

下級モンスターならなかなか越えられない守備力だけど、今回は危なかった。

試験官 L P : 4 0 0 0 ↓ 3 4 5 0

「くっ、ゴブリン突撃部隊は攻撃した場合、バトルフェイズ終了時に守備表示になる…」

「剣闘獣ホプロムスの効果発動!! このカードが戦闘を行ったバトルフェイズ終了時にこのカードをデッキに戻す事で、デッキから「剣闘獣ホプロムス」以外の「剣闘獣」と名のついたモンスター1体を自分フィールド上に特殊召喚する。」

「なんだと！」

剣闘獣デッキの恐ろしさの一つである、このリクルート効果。戦闘後に自身をデッキに戻すことで、効果を発動した剣闘獣と同名ではない剣闘獣1体をデッキから特殊召喚するという効果は汎用性が高い。

「俺はデッキから 剣闘獣ベストロウリイ を特殊召喚して効果発動、フィールド上の魔法または罫カード1枚を破壊する。破壊するのは ビックバンシュート だ」

ベストロウリイの巻き起こした竜巻が魔法を破壊した。

「ッー！…… ビックバン・シュートが破壊されたことにより、装備モンスターはゲームから除外される」

あ、ラッキー！

ゴブ突が隕石に当たって砕け散った。

「私はカードを2枚伏せてターン終了だ」

（なかなかやるな。だが、私の伏せたカードの中には 聖なるバリアーミラーフォースー がある。剣闘獣というモンスターは聞いたことがないがどうやら戦闘を行わないと発動できないようだ。さて、君はどうする？）

あ、ミスった。これって試験だから減点対象になるのかな？

「ま、いいか（ぼそッ）俺のターン、ドロー」

ここで怖いのは、奈落の落とし穴と神の宣告。
前者は、召喚を無効にするわけではないので大丈夫だけど、後者は無効化されるとキツイ。

「俺は、 剣闘獣セクトル を召喚」

このデッキの手札事故要因第一位。ハマれば強いけど…まあ、ロマンだね。

グラディアルビースト
剣闘獣セクトル ATK / 400

「攻撃力400のモンスターを攻撃表示だと!!」

こいつは、素材だから何でもいいけどね

「自分フィールド上にいる 剣闘獣ベストロウリィ と 剣闘獣セクトル をデッキに戻し、融合モンスター 剣闘獣ガイザレス を特殊召喚する。」

「 融合 カード無しで融合召喚だと!!」

剣闘獣ガイザレス ATK / 2400

「ガイザレスの効果発動、このカードが特殊召喚に成功した時、フィールド上のカードを2枚まで破壊する事ができる。あなたの伏せカードを二枚破壊!!」

「私の 最終突撃命令 と 聖なるバリアーミラーフォース」が……」

「更に、罨カード発動 ハンディキャップマッチ！

自分が「剣闘獣」と名のついたモンスターの特殊召喚に成功した時に発動する事ができる。自分の手札またはデッキから「剣闘獣」と名のついたレベル4以下のモンスター1体を特殊召喚する。来い
剣闘獣エクイテ」

剣闘獣エクイテ ATK/1600

これで クリボー とかがない限りは終わりだ。

「バトル！！ ガイザレスとエクイテでダイレクトアタック。 ウ
インド・ブレイク」

二体の鳥獣達による羽ばたき？による突風が吹くと試験官に直撃する。

「うわあああつー！！」

試験官 LP:3450↓0（-550）

LPがゼロになるとともにビツと言う音が鳴り『WIN』という文字が表示される。

「グッド！！」

パーフェクト達成の気持ちからジョジョネタに走ってしまった。

観客は、パーフェクトデュエル完全決闘に騒然…する訳では無く、まあ普通かなみたいな感じである。ま、試験用のデッキだから珍しくないのだろう。

「試験デュエル終了。おめでとう、君の勝利だ」

「はい！！　ありがとうございます」

俺は、試験官の人に失礼しますと言ってその場を離れた。背後から「受験番号42番」と次の人を呼ぶ声が聞こえた。

俺は、トイレに駆け込むと急いで鏡を確認した。

「な、なんじゃこりゃあ……」

鏡に映る姿は15歳？くらいの自分の姿。可もなく不可もない普通の顔だ。

俺は呆然とした気持ちに活を入れるために顔を洗うと今起こっている現象について考えた。

この世界は……遊戯王GXの世界。

俺は……デュエルアカデミアの受験生。

鞆の中にあつた試験方法が書かれてある紙を見ると受験番号は筆記試験の順位から決定してるようだ。46位ってえらく半端な。実力的には中の上くらいかな。

持ち物を確認すると見覚えのない携帯、財布、俺のデッキ、デュエルディスクとそのケースがあつた。

やっぱりこれって……夢じゃなくて……

二次創作でよくある憑依^{トリップ}じゃね……

ブログっばい（後書き）

ちよつと、作者のもう一つ作品　そーどあーと・おんらいんツス
が行き詰って書けないのでリハビリで書いてた物を投稿。

おかしな点がございましたら感想を頂けると幸いです。

ちなみに主人公が気付いた作中のミスは　ハンディキャップ・マッ
チ！　の発動タイミング。気付かなかったミスは表側守備表示が出
来るのにセクトルを攻撃表示で出したことくらいかな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0162ba/>

遊戯王GXっぽい

2011年12月31日11時48分発行